

## 第 61 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第61回日本神経学会学術大会  
大会長 阿部 康二

### 開 催 概 要

1. 学術大会会期：2020年5月20日（水）～23日（土）  
「今日の臨床，明日の臨床～The Times They Are A-Changin'～大還暦へ向けての新たな第一歩」をテーマとして，上の日程で開催致します。
2. 学術大会主会場：岡山コンベンションセンター  
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14番1号  
TEL: 086-214-1000 FAX: 086-214-3600  
ホテルグランヴィア岡山  
〒700-8515 岡山県岡山市北区駅元町1番5  
TEL: 086-234-7000 FAX: 086-234-7099
3. 演題募集期間：2019年10月1日（火）正午～11月25日（月）正午  
※学会事務局の問い合わせ対応時間は，平日10:00～17:00です。  
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。  
※学生・研修医演題およびメディカルスタッフ演題も同時募集いたします。  
演題登録に関する詳細は，大会ウェブサイト「演題募集」をご確認ください。  
(<https://www.neurology-jp.org/neuro2020/>)
4. 事前参加登録：2019年12月2日（月）正午～2020年4月10日（金）17:00 予定  
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。  
※学会主催教育セミナー（日本神経学会第15回専門医育成教育セミナー，第17回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」，第7回メディカルスタッフ教育セミナー）もオンラインによる事前登録制です。  
※今大会では，「教育コース」の事前参加登録は行いません。広めの会場ですので，当日先着順でご参加いただけます。  
※参加登録詳細は，追って大会ウェブサイト「参加登録」に掲載いたします。  
(<https://www.neurology-jp.org/neuro2020/>)  
事前参加登録開始前に，今一度ご自身の会員登録情報のご確認をお願いいたします。  
ご所属やご住所，ご連絡先メールアドレスに変更がある場合は，必ず神経学会会員マイページにて情報をご修正いただいてから，期間内に事前参加登録を行ってください。  
事前参加登録システム上では，会員登録情報の修正は行えませんので，ご注意ください。
5. お問い合わせ  
【大会長校事務局】  
岡山大学脳神経内科学  
〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1  
【第61回学術大会運営事務局】  
〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階  
株式会社日本旅行 コンベンショングループ内  
TEL: 086-259-5578 FAX: 086-250-7682  
E-mail: neuro2020@wjcs.jp

【日本神経学会事務局】

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階  
TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。
2. 演題募集期間：2019年10月1日（火）正午～11月25日（月）正午  
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。
3. 演題要旨作成時の注意
  - (1) 演題の制限：1 演者につき 1 題とします。但し、共同演者になることは差し支えありません。1 施設から多数の申し込みも歓迎いたします。
  - (2) ご登録いただく項目
    - ◎登録・発表言語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）  
※基本は、抄録の登録言語が発表言語となるようにセッションを組む予定です。
    - ◎発表形式区分：口演もしくはポスター
    - ◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は 20 名以内
    - ◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は 10 機関以内
    - ◎演題名（日英）：日本語は全角 40 文字以内，英語は半角 100 文字以内
    - ◎抄録：
      - ・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによって言語指定あり）
      - ・日本語は全角 800 文字以内，英語は半角 1,600 文字以内とします。
      - ・【目的】【方法】【結果】【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行はしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。
      - ・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】【方法】【結果】【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。
  - (3) 筆頭演者は本学会の正会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は、必ず日本神経学会 HP「入会に際して」をご確認の上、「入会までの手順」に従って、演題登録締切の 1 週間前までに、入会手続き（入会申込書の送付、年会費の支払い）をお済ませください。入会手続きには 1 週間～2 週間かかることがございますので、余裕を持ってお手続きください。演題登録締切の 1 週間前（2019 年 11 月 18 日（月））までにご入会手続きが完了していない場合は、ご登録いただいた演題を不採択とさせていただきますので、ご了承ください。

日本神経学会事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階  
TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931  
（受付時間：平日 10:00～17:00）
  - (4) 応募演題の研究の内容により、厚生労働省等による倫理指針（臨床研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、疫学研究、ヒト幹細胞を用いる臨床研究など）及び所属施設が定めた倫理規定（動物実験等を含む）を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ていることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」（[https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai\\_rinri.pdf](https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf)）をご覧ください。承認の得られていない研究についての演題は、応募することができません。
  - (5) 応募演題は、演題を登録した時点において、未発表のものに限ります。他学会で既に発表済みの演題でも、論文発表されていなければ応募可能です（同一抄録は不可。タイトルの変更や症例の追加などで少し内容を発展させてあれば可）。

- (6) 演題の査読を行いますので、抄録本文の中で筆頭演者の所属機関名、及び所属機関が明らかになるような記述や、筆頭演者や共著者が明らかになるような記述（謝辞を含む）は避けてください。
- (7) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。薬品の商品名は、使用禁止とします。
- (8) 薬品以外の商品名（HAL® など）を使用する場合には、必ず登録商標やトレードマークを表示方法に従って付記してください。
- (9) 症例数や実験に用いた動物の数などは、演題登録時点で実際に行った数値を記載してください。
- (10) 一例報告については原則認めません。但し、症候学的、学術的な面などから深く検討されているのであれば、審議の上、採択することがあります。
- (11) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。入院年月日や年齢など、個人が特定される恐れのある情報を含む発表は禁止します。
- (12) 演題登録締切り後、査読委員が査読を行い、採否を決定します。応募演題の内容によっては、採択されない場合もありますが、ご了承ください。
- (13) 第 61 回日本神経学会学術大会 最優秀演題賞を設けますので、応募希望の方は抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後 15 年未満とします。尚、最優秀演題賞への応募演題に関しては、英語での登録を推奨します。表彰式は、5 月 20 日（水）の全員懇親会で行います。また、国際対応委員会では、最優秀演題候補の筆頭演者には、国際学会でもご発表いただきたいと考えており、20 演題程度に対し、AOCN2020（Taiwan）での参加、発表助成として、トラベルグラント授与を予定しております。
- (14) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので、注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また、学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。プログラム・抄録集の“抄録集”部分が「臨床神経学サプリメント号」として認定されております。掲載ページには「臨床神経学 60 巻サプリメント号 S-〇〇」という頁数が付与されます。  
尚、「臨床神経学」の投稿規程に基づき、掲載論文の複写、および転載等の二次的使用に関する許可の権限は日本神経学会に所属いたします。またこれによる使用料は日本神経学会に帰属するものとします。  
一般演題で応募された先生の中から、海外からの演者との企画シンポジウムに採択させていただく場合がございます。その場合、日本語でご登録いただいた場合でも、英語での発表形式をプログラム委員会からお願いすることがございますので、ご了承ください。

#### 4. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI と略す）」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄にて「ある」「ない」をご選択ください。「ある」の場合、演題登録後に日本神経学会ホームページの「倫理および利益相反に関する規程等」項目にある「別紙様式 3」をダウンロードしていただき、ご記入の上、以下の学会事務局担当者までメール添付もしくは郵送にて送付してください。

COI 提出締切：2019 年 12 月 6 日（金）必着

COI 自己申告書送付先 第 61 回大会 COI 受付係

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階

TEL：03-3815-1080 FAX:03-3815-1931

E-mail：jsn-abs@gol.com

尚、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上の学会事務局までお問合せください。

#### 5. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている、7ケタの登録番号をもって、2020 年 2 月中旬頃より当サイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時等の通知はいたしませんので、必ず当サイトをご確認ください。発表形式も同時に掲載いたします。発表日の希望ならびに、決定

後の発表日時変更は承りません。筆頭演者ご自身が日程調整の上、ご発表いただきますようお願いいたします。

#### 6. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。スクリーンの縦横比は 3:4 です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PC からの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USB メモリーまたは CD-R）での持ち込みとなります。但し動画がある場合にはご自身の PC をご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時に利益相反開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (6) 学術大会国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいての口演スライドは必ず英語で作成してください。
- (7) 一般演題の口演発表時間は、一人当たり発表 10 分 + 質疑応答 5 分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください）

#### 7. ポスター形式による発表方法

- (1) ポスターパネルは縦 210cm × 横 90cm の予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会運営事務局で用意いたします。演題名・氏名・所属は各自で 20 cm × 70 cm 枠に横書きしてください。
- (2) ポスターは、要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は 2 ~ 3 m 離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が 20 cm 以上の大きさとタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) 動画 URL の QR コードを提示したい場合は、ご自身で QR コードをご作成の上、ポスター内に印刷、または貼付してください。  
※ 57, 59 回大会時のように、演題登録時に申請、事務局にて QR コードの作成、貼付するサービスは、本大会では行いませんので、ご了承ください。
- (4) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (5) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は、会場に用意いたします。
- (6) ポスター発表のスケジュール等は、演題採用通知発表後にご案内させていただきます。
- (7) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (8) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時には利益相反開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (9) 学術大会国際化のため、できるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいてのポスターは必ず英語で作成してください。
- (10) 一般演題のポスター発表時間は、一人当たり発表 5 分 + 質疑応答 1 分、総合討論 30 分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください）

#### 8. 日本神経学会 学術大会運営委員（50 音順・敬称略）

青木 正志 阿部 康二 宇川 義一 加世田ゆみ子 楠 進 桑原 聡  
佐々木秀直 下濱 俊 高橋 良輔 戸田 達史 服部 信孝

#### 9. 第 61 回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員（50 音順・敬称略）

青木 正志 井口 保之 石浦 浩之 伊東 秀文 井上 治久 今井 富裕  
岩田 淳 岩坪 威 卜部 貴夫 漆谷 真 太田 康之 岡野 栄之  
小野賢二郎 梶 龍兒 加世田ゆみ子 勝野 雅央 亀井 聡 神田 隆  
北川 一夫 木下 彩栄 吉良 潤一 葛谷 聡 桑原 聡 小池 春樹  
佐藤 克也 下畑 享良 下濱 俊 神 一敬 杉江 和馬 鈴木 匡子  
砂田 芳秀 高尾 昌樹 高橋 慎一 高橋 良輔 瀧澤 俊也 瀧山 嘉久  
竹島多賀夫 立花 直子 玉岡 晃 坪井 義夫 寺尾 安生 峠 哲男  
永井 義隆 中島 一郎 永野 功 中原 仁 永山 正雄 西山 和利  
長谷川一子 服部 信孝 羽生 春夫 林 健 原 英夫 平田 幸一

船山 学 松本 理器 丸山 博文 三澤 園子 宮本 雅之 村山 繁雄  
望月 秀樹 本村 政勝 横田 隆徳 横田 千晶 渡辺 宏久 山下 徹 (事務局)

10. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50音順・敬称略)

青木 正志 阿部 康二 宇川 義一 北川 一夫 吉良 潤一 楠 進  
葛谷 聡 古和 久典 砂田 芳秀 園生 雅弘 高嶋 博 富本 秀和  
服部 信孝 三井 良之 山下 徹 山田 正仁

各種企画のお知らせ

☒…英語セッション

1. 大会長講演 (5月21日(木)午後 予定) ☒  
阿部 康二 (岡山大学医学部脳神経内科学 教授)
2. 特別講演 1 (5月21日(木)午後 予定) ☒  
Hyslop (Director, Tanz Center for Research in Neurodegenerative Diseases, University of Toronto, Canada)  
「Challenges of neurodegenerative disease (tentative)」  
特別講演 2 (5月22日(金)午後 予定)  
大内 尉義 (虎ノ門病院院長)  
「老年医学からみた脳神経内科の展望 (仮)」  
特別講演 3 (5月22日(金)午後 予定)  
武田 雅俊 (藍野大学学長/前大阪大学精神医学教授)  
「精神医学からみた脳神経内科の展望 (仮)」  
特別講演 4 (5月23日(土)午前 予定)  
森 啓 (大阪市立大学特任教授/田宮病院顧問/前日本認知症学会理事長)  
「日本が今後目指すべきアルツハイマー病研究の方向性 (仮)」  
特別講演 5 (5月23日(土)午前 予定)  
内山真一郎 (山王メディカルセンター脳血管センター長/第36回日本脳卒中学会総会会長)  
「日本が今後目指すべき脳卒中研究・臨床の方向性 (仮)」
3. 2019年度学会賞受賞者招待講演 (5月21日(木)午後 予定)
4. 中四国ブロック企画 特別セッション～中国四国地域発で世界的に展開した学術業績～ From the local Chushikoku to the World (5月21日(木)午前, 5月23日(土)午前 予定)
5. Emerging Asian Neurology 1 (5月21日(木)午前 予定) ☒  
Emerging Asian Neurology 2 (5月22日(金)午前 予定) ☒
6. Vas-Cog Asia/Japan Joint Symposium (5月22日(金)午後 予定) ☒
7. (仮称) 日本神経学会・脳神経外科学会合同シンポジウム (5月21日(木)午後 予定) ☒
8. 学術プログラム: Neuroscience Frontier Symposium/ ホットトピックス/ ガイドラインコース/ シンポジウム等 (予定)  
5月20日(水)午前  
・PSP/CBD: 神経画像の進歩  
・Alzheimer's disease from the viewpoint of sleep medicine ☒  
・神経学先進国における Neuro-ICU の現状とわが国の歩み  
・総括! MS・NMOSD の治療法 Update

- ・めまいを科学する
- ・ビッグデータを使った多因子疾患の理解
- ・Front line of neuromodulation by non-invasive brain stimulation—from basic to clinical [E]

5月20日(水)午後

- ・遺伝性痙性対麻痺 (HSP) の最前線
- ・A novel approach to decipher molecular mechanisms of human demyelinating diseases [E]
- ・急性期脳卒中インターベンションへの新たなアプローチ
- ・生命金属で切り開く神経疾患の解明
- ・Reappraisal of electrodiagnostic tests for myasthenia gravis and Lambert-Eaton myasthenic syndrome [E]
- ・Therapies for Parkinson's Disease: Now and on the horizon [E]
- ・ミトコンドリア病 UPDATE
- ・前臨床に有用な ALS モデルを考える
- ・CIDP：病態解明から新規治療へ
- ・認知症診療のピットフォール
- ・Dawn of new era: management of migraine headache [E]
- ・Future prospects of drug development for neurological disorders by major pharmaceutical companies and Public Private Partnership [E]

5月21日(木)午前

- ・パーキンソニズムを呈する神経疾患の画像診断
- ・神経変性“因子”のイメージング研究最前線
- ・Current challenges in gene therapy for central nervous system disorders [E]
- ・神経難病医療の現在地
- ・次世代 ALS 治験：国内 ALS 医師主導治験から浮かび上がる課題とは？
- ・ジストニア update
- ・新ガイドライン 1：ジストニア・SCD/MSA・HAM
- ・難治性頭痛の克服にむけて
- ・ニューロパチーにおける病態解明と治療の最前線
- ・Preparing for disease-modifying therapies in PD—From biomarkers, animal models to novel therapeutic approach [E]
- ・Is the concept of embolic stroke of undetermined source (ESUS) dead or alive? [E]
- ・AI・BMI を活用した脳神経内科の未来

5月21日(木)午後

- ・神経難病の災害医療の過去・現在・未来＝東日本大震災から10年を前にして＝
- ・小児期発症神経・筋疾患の小児－成人移行医療における現状と課題
- ・New approaches aimed for the development of disease modifying therapies of Alzheimer's disease and other dementia diseases [E]
- ・Autoimmune epilepsy [E]
- ・夢に描く難病医療と支援：難病法の下での課題と展望
- ・世界をリードするプリオン病研究、さらなる高みを目指して
- ・脳卒中・循環器病対策基本法と日本神経学会
- ・神経内科医が知っておきたい神経病理の基礎知識
- ・知っておきたい！進化する難治性筋疾患の新展開
- ・神経疾患の新しい臨床症状評価・診断法
- ・脳神経内科における遠隔医療・オンライン診療の現状とこれから
- ・プロテノパチー克服への道程

5月22日(金)午前

- ・The Implication of Autophagy in Alzheimer's disease and Dementia [E]
- ・「基礎～臨床，学会横断シンポジウム」未来の疾患治療のために基礎科学に目を向けてみよう
- ・Latest Advances in the Treatment of Ischemic Stroke [E]
- ・Original discovery and therapy for SCA from Japan to the world [E]

- ・いつまで治療を続けるのか？
- ・まるごと2時間封入体筋炎～ up to date と pitfall ～
- ・こんなにも面白い神経学の歴史
- ・自己免疫性脳炎の最前線
- ・Sleep disorders and synucleinopathies:basic to clinical approach [E]
- ・国際化—日本神経学会はどこを目指すのか？
- ・認知症における脳機能画像の進歩
- ・ニューロトキシコロジー：臨床医が理解すべき病態と治療の最新情報

5月22日（金）午後

- ・日本発 遺伝性神経筋疾患 最新の発見
- ・難病患者の意思決定を支える臨床倫理コンサルテーション
- ・神経免疫疾患の個別化医療：現在と将来
- ・The concept of MOG-IgG positive diseases [E]
- ・代謝性疾患 治療とマネジメントの最先端 学生時代の常識は通用しない！
- ・未来志向の働き方改革：10年後の神経内科診療に向けての5人の女性医師からの提言
- ・Development of new frontier for elucidation of multiple system atrophy [E]
- ・側頭葉てんかんの新展開
- ・ $\alpha$ -シヌクレイン研究の現状と未来—up to date—
- ・An update on diagnostic and prognostic biomarkers in Parkinson's disease [E]
- ・頰椎・腰椎症を含む脊椎疾患のホットトピックス
- ・脳肉眼診断の極意—ローテクのみでここまで鑑別できる—
- ・What does basal ganglia do physiologically and pathophysiologically? [E]
- ・Leading edge of ALS research [E]
- ・神経難病に対する神経リハビリテーション：可塑性から臨床アウトカムへ
- ・脳神経内科のキャリアパス：訪問診療、在宅診療の要としての脳神経内科医
- ・脳神経内科基本領域化に向けて
- ・State-of-the-art basic research for Alzheimer's disease [E]
- ・明日の臨床につなげるMRIの可能性と臨床応用
- ・パーキンソン病の摂食嚥下障害対策
- ・タウオパチー最新の知見
- ・稀少な認知症疾患の画像と病理

5月23日（土）午前

- ・Cerebral small vessel disease up-to-date [E]
- ・IgG4-mediated diseases—分野・領域の垣根を越えて病態に迫る—
- ・Current challenges in regenerative medicine for central nervous system disorders [E]
- ・開業でも大活躍、成功する脳神経内科のキャリアパス
- ・新ガイドライン2：ジストニア・SCD/MSA・HAM
- ・働き方改革：今、必ず押さえるべきこと
- ・Update of Oligonucleotide Therapy for CNS diseases; From Basic to Clinic [E]
- ・神経感染症、新たな時代
- ・パーキンソン病の非運動症状：症候から病態、疾患修飾への関与まで
- ・Toward Early Diagnosis of ALS [E]
- ・舞踏病の最前線

## 9. レクチャーマラソン

5月20日（水）午前

- ・神経変性疾患の脳画像（仮）
- ・PET画像を駆使した脳疾患病態（仮）

5月20日（水）午後

- ・末梢神経障害診断のポイント（仮）

・パーキンソン病診療ガイドライン 2018 (仮)

5月21日(木)午前

- ・経頭蓋磁気刺激法の最新動向 (仮)
- ・神経内科医が取り組む特許開発 (仮)

5月21日(木)午後

- ・開業神経内科医の認知症対応 (仮)
- ・神経変性疾患の分子生物学的病態解明 (仮)

5月22日(金)午前

- ・神経内科医による血管内治療の現状 (仮)
- ・脳卒中急性期診療の最新トピックス (仮)

5月22日(金)午後

- ・神経変性疾患の分子病態 (仮)
- ・電気生理学検査の基本をマスターしよう (仮)
- ・認知症と small vessel disease 最新情報 (仮)
- ・超高齢社会における認知症の実態 (仮)

5月23日(土)午前

- ・多発性硬化症と NMO の最新情報 (仮)
- ・デバイスで広げる神経内科の地域診療 (仮)

## 10. 教育コース

5月20日(水)午前

- ・虚血・出血・認知症～広がり続ける脳小血管病の世界
- ・片頭痛だけが一次性頭痛じゃない；ゾーンに入った頭痛診療を目指して
- ・仮面舞踏会（臨床）の楽屋裏（神経病理）を覗く—臨床の鑑別力を高めるために—

5月20日(水)午後

- ・ALS の人工呼吸器装着後の治療とケア
- ・てんかん発作か発作性運動異常症か、それが問題だ。(Seizures or involuntary movements, that is the question.)
- ・新しい筋疾患のガイドライン、筋強直性ジストロフィーと重症筋無力症診療ガイドラインのエッセンスと最近のトピックを学ぼう

5月21日(木)午前

- ・症例で学ぶ認知症道場 あなたの診断は？
- ・疾患修飾薬使用中の多発性硬化症患者のモニタリングの仕方：最前線と実臨床
- ・脳神経内科医に必要な脳死・臓器組織提供の知識

5月21日(木)午後

- ・末梢神経疾患を知ろう
- ・目で診る Movement disorders の臨床
- ・脳神経内科医が知っておきたい睡眠ポリグラフ検査 (PSG)

5月22日(金)午前

- ・筋電図塾 in 岡山
- ・もっと学びたい！今日から役立つ神経リハビリテーション
- ・老年期神経疾患の画像診断 tips；典型例と非典型例を識る

5月22日(金)午後

- ・めまいと眼球運動障害を簡単に理解するコツ
- ・知っていて、解っていない神経診察の基本
- ・臨床病理カンファレンス
- ・頭痛学入門：明日から始める一歩踏み込んだ頭痛診療
- ・アクセプトされる論文の書き方
- ・キソから学ぶ筋疾患

5月23日（土）午前

- ・医学生・初期研修医のための神経診察実習—神経診察を学ぼう—
- ・ここまで来ている！最新の脳卒中診療
- ・ライフスタイルに鍵あり！？科学的アプローチから認知症の予防，早期発見，治療，ケアを学ぼう！

11. メディカルスタッフセッション（5月22日（金）・23日（土）予定）
12. 学生・研修医セッション（5月23日（土）予定）
13. 各種共催セミナー
14. 脳神経内科ウィーク（市民公開講座）（5月20日（水）～5月23日（土）予定）
15. 日本神経学会主催セミナー（事前登録制）
  - ・第17回生涯教育セミナー「レクチャー」（5月20日（水）午前・23日（土）午後 予定）
  - ・第17回生涯教育セミナー「Hands-on」（5月20日（水）午前・23日（土）午後 予定）
  - ・第15回専門医育成教育セミナー（5月20日（水）午前・午後 予定）
  - ・第7回メディカルスタッフ教育セミナー（5月23日（土）午後 予定）
  - ・市民講座（5月24日（日）午後 予定）